

群馬支部保険者機能強化予算の執行実績について

支部医療費適正化等予算の執行実績（令和3年度）

（単位：円）

分野	区分	取組名	実施状況（令和4年度新規事業は予定）	令和3年度			4年度	
				予算額	執行額	執行率	実施予定	予算額
医療費適正化対策	企画部門	①医療機関・調剤薬局でのデジタルサイネージの実施	医療機関を受診し、診療や処方を行っている間に、ジェネリック医薬品についての動画等を配信することにより、身近な問題として啓発を図る。医療機関・調剤薬局の待合室等44施設51モニターで、既存の30秒動画を2本配信、県庁県民駐車場待合スペース2モニターでも同様に配信した。実施時期：R3.11月～12月	990,000	1,000,175	101.0%	○	1,199,000
		②多受診、はしご受診、時間外受診、資格喪失後受診等の医療費適正化対策に向けた広	はしご受診と時間外受診抑制の内容でポスターを作製し、健康保険委員委嘱事業所へ送付した(3400部)。実施時期：R4.2月	71,500	132,660	185.5%	○	71,500
		企画部門 小計		1,062,000	1,132,835	106.7%		1,270,500
	業務部門	③外国人対応に向けた自動翻訳機の導入	自動翻訳機を購入し、窓口業務及び債権回収業務等における外国人対応の際に活用。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策による支部窓口職員の常駐がない状況のため、翻訳機の使用機会はほとんどなかった。実施時期：R3.7月～R4.3	72,666	55,946	77.0%	×	本体購入済みのため
		④事務説明会動画教材の作成について	問い合わせの多い「限度額適用認定証」「療養費（立替払等・治療用装具）」について、各約5分間の動画を作成。YouTubeへアップロードを行い、支部HPとリンクさせ、加入者全体の制度理解につなげている。実施時期：R4.3月末から公開	1,155,000	1,147,390	99.3%	×	動画制作終了のため
		業務部門 小計		1,228,000	1,203,336	98.0%		
	医療費適正化 合計				2,290,000	2,336,171	102.0%	

支部医療費適正化等予算の執行実績（令和3年度）

（単位：円）

分野	区分	取組名	実施状況（令和4年度新規事業は予定）	令和3年度			4年度	
				予算額	執行額	執行率	実施予定	予算額
広報・意見発信	紙媒体による広報	⑤納入告知書同封チラシの作成	納入告知書同封チラシ「ぐんまだより」を作成し、加入事業所に対して広く周知・広報を実施した。	1,714,680	1,116,162	65.1%	○	2,194,340
		⑥健康経営事例集の作成	健康づくりの参考となる取り組み事例集を作成し、健康宣言事業所に配布、ホームページにも掲載し、健康経営の推進を図る。宣言事業所のうち15社の協力をいただき3,000冊を作成した。	1,430,000	1,622,500	113.5%	○	1,702,800
		⑦メールマガジン登録勸奨チラシの作成	昨年度作成したチラシが残っていたため、R3年度は未実施。	158,400	0	0.0%	○	330,000
		紙媒体による広報 小計			3,304,000	2,738,662	82.9%	/

支部医療費適正化等予算の執行実績（令和3年度）

（単位：円）

分野	区分	取組名	実施状況（令和4年度新規事業は予定）	令和3年度			4年度	
				予算額	執行額	執行率	実施予定	予算額
広報・意見発信	その他の広報	⑧WEBアンケート調査と集計分析	支部の事業に対する加入者の理解度の現状把握と理解度向上を図るため、R4.2.10～R4.3.7にかけて加入者（健康保険委員、メールマガジン登録者、健康保険委員が勤務する事業所の加入者）に対してWEBアンケート調査を実施。307名が回答。	1,094,500	830,500	75.9%	○	1,094,500
		⑨JR電車内を活用した中吊りポスター等の掲示	ジェネリック医薬品の使用割合が低い高校生～40代に対して使用促進を図るため、通勤通学で利用することの多い電車とバス内にジェネリック医薬品使用促進のためのポスターを作製し、R4.2月～3月に掲示した。	942,700	435,914	46.2%	○	942,700
		⑩Web広告等を活用した広報業務委託	①YahooブランドパネルでR4.1.18～R4.1.31②YouTube、instagram、FacebookでR4.1.6～R4.2.28にかけて既存の30秒動画を2本配信。オリンピック期間と重なっていたこともあり、オリンピック情報収集のため視聴者が増加し、幅広い年代に周知できた。全体では視聴者数は140万件で動画訴求としては効果的であった。	4,378,000	4,290,000	98.0%	○	4,114,000
		⑪健康増進の普及にかかる広報	群馬県や地元テレビ局と連携し、健康寿命延伸のテレビCMを放送した。また、群馬県や地元テレビ局と連携し、支部長が地元テレビ局の番組に出演して、健康診断の重要性や健康づくりについて意見発信を行った。実施時期：R3.9月～R3.10月	550,000	550,000	100.0%	○	1,540,000
		⑫通勤通学時間帯を狙った広報の実施	通勤通学時間帯である18時台に、健康保険料率の改定のお知らせ、健康診断受診の推奨についてのラジオCMを放送した。また、健康経営の推進について出演CMにて広報した。実施時期：R4.3月	352,000	424,600	120.6%	○	352,000
		⑬紙媒体を活用した広報	県内購読数1位の上毛新聞社の月刊誌「元気+らいふ」において表紙の下約1/3のスペースに重症化予防や特定健診の推奨、生活習慣病予防健診の推奨についての広告を掲載した。実施時期：R3.9月、R3.12月、R4.3月	1,320,000	1,320,000	100.0%	×	
		その他の広報 小計			8,638,000	7,851,014	90.9%	/
広報・意見発信経費 合計				11,942,000	10,589,676	88.7%	/	12,270,340

支部医療費適正化等予算の執行実績（令和3年度）

（単位：円）

分野	区分	取組名	実施状況（令和4年度新規事業は予定）	令和3年度			4年度	
				予算額	執行額	執行率	実施予定	予算額
令和3年度 総合計				14,232,000	12,925,847	90.8%	/	13,540,840

支所保健事業予算の執行実績（令和3年度）

(単位：円)

分野	区分	取組名	実施状況（令和4年度新規事業は予定）	実施・未実施	令和3年度			令和4年度		
					予算額	執行額	執行率	実施予定	予算額	
事業者健診の結果		①事業者健診HbA1c追加検査費	予算計上時、契約機関は1機関。令和2年12月23日以降の定期健康診断における血糖検査の取扱いが改定され検査費用を払う必要がなくなったため、予算執行が発生しなかった。	×	14,000	0	0.0%	×	0	
		②健診実施機関実地指導旅費	13健診機関に対して実地調査を行った。調査はリモートによる調査や公用車を使用するなど、予算執行が発生しない方法での実施となった。	×	10,000	0	0.0%	○	10,000	
	③委任状取得費	事業者健診データ作成契約機関が事業所より事業者健診結果データを協会けんぽに提供することを委任された場合に委任状の取得費用として支払うもの。契約機関は72機関あるが、当該取組は労力がかかる一方、対価が廉価なこともあり、積極的な取り組みが行えておらず、委任状の取得に至った健診機関がなく、予算執行が発生しなかった。	×	275,000	0	0.0%	○	44,000		
	④データ作成費		×	0	0	#DIV/0!	○	46,200		
	⑤専門業者を活用した事業者健診結果取得動員等	5,200社に対し事業者健診結果提供・生活習慣病予防健診受診勧奨の文書案内及び電話勧奨を実施。勧奨の結果、同意書取得341社（対前年223社）、紙媒体健診結果票取得846人（対前年539人）と前年度件数を上回った。委託単価が予定より廉価であり、目標件数には至らなかったため執行率は低くなった。	○	9,817,500	4,963,511	50.6%	○	14,493,600		
	⑥事業者健診結果データのパンチ入力委託	健診結果票が紙媒体で提出された場合、データ化するため民間事業者へパンチ委託した。委託件数960件（対前年1,520件）と紙媒体提出件数が伸びなかったことと、委託単価が予定より廉価であったため、執行率が低くなった。	○	617,760	84,417	13.7%	○	1,075,910		
	⑦事業者健診データ取得促進に関するチラシ作製	健康保険委委員が在籍している加入事業所に対して新スキームに対応した事業者健診データ提供促進に関するチラシを送付するために作成。作成単価が予定より廉価だったため執行率が低くなった。	○	132,000	50,050	37.9%	×	0		
	事業者健診の結果データの取得 小計					10,843,000	5,097,978	47.0%		15,660,000
	集団健診		⑧協会主催の集団健診	3健診機関により県内36会場において協会主催の集団健診を行った（受診者数：2,818人）。対象者56,158人に対して勧奨を実施。受診案内作成費用、会場調達費用が予定より廉価で済んだため執行率は低くなった。	○	6,220,500	3,114,473	50.1%	○	5,324,000
			集団健診 小計					6,221,000	3,114,473	50.1%

健診 推 進 経 費	⑨生活習慣病予防健診 (A)	契約健診機関ごとに目標値を設定し、目標超過分の実績に応じて推進費を支払う事業。例年、健診推進経費契約健診機関において、提供していた勧奨対象事業所への勧奨が実施できておらず、受診件数の伸びに繋がらない状況が続いたため、民間事業者による電話勧奨事業および支部からの文書勧奨に振り替えたことから当事業は未実施となった。振り替えの結果、R3年度はR2年度実績を上回る実績となった。	×	6,924,610	0	0.0%	×	0
	⑩事業者健診 (同意書の取得)		×	156,200	0	0.0%	×	0
	⑪事業者健診データ取得 (B)		×	165,000	0	0.0%	×	0
	⑫特定健診 (C)		×					
	健診推進経費 小計				7,246,000	0	0.0%	
健診 受 診 勧 奨 等 経 費	⑬新規適用事業所および任継被保険者向け健診案内封入封緘業務	新規適用事業所 (1,320社) 及び任意継続被保険者 (1,757人) に対して当年度の受診案内の送付を実施。委託単価が予定より廉価だったため執行率が低くなっている。	○	1,156,650	593,186	51.3%	○	365,750
	⑭年度当初の健診案内を活用した健診受診勧奨チラシの作製	加入事業所32,231社、被扶養者70,734人に対して年度当初健診案内を送付する受診勧奨を実施した。各種案内作成単価が予定よりも廉価で済んだため、執行率が低くなった。	○	2,594,350	927,586	35.8%	○	1,346,505
	⑮新規加入の被扶養者あて特定健診受診券等の封入封緘業務	新規加入の被扶養者に対し受診券及び健診案内の送付を7回、対象者5,416人に対し実施した。初回の発送時期を早めるため、一部を支部内で実施したため、委託件数が予定より下回ったこと、また封入封緘の単価が予定よりも廉価で済んだことから、執行率が低くなった。	○	1,185,800	269,828	22.8%	○	1,031,250
	⑯GISを活用した被扶養者に対する特定健診の受診勧奨	県内在住の未受診者46,780人に対し、前年の受診状況に応じてパターン分けした受診勧奨通知に近隣の4医療機関を掲載し受診案内を送付した。調達方法を企画競争方式から一般競争入札方式に変更したこともあり作成単価が予定より廉価で済んだため執行率が低くなった。	○	8,195,000	3,888,060	47.4%	○	4,917,000
	⑰市町村のがん検診と連携した特定健診の受診勧奨	協定市等7市在住の被扶養者32,138人に対して、がん検診と特定健診の同時受診について受診勧奨案内を送付した。勧奨件数が予定よりも少なく、作成単価も廉価で済んだため執行率は低くなった。	○	3,256,000	1,615,306	49.6%	○	2,680,700
	⑱市町村等と連携した特定健診等の受診勧奨広報物の作製・掲示	前橋市と連名の特定健診受診勧奨ポスターを作成し、県内の公共交通機関、協定市関連施設、大手小売店等に掲示するもの。ポスター掲示時期がR4.5月以降となったことから、次年度予算にて実施したため、R3年度予算は未執行となった。	×	66,000	0	0.0%	○	33,000
	⑲【新規】小規模事業所への生活習慣病予防健診受診勧奨	概ね5年以内に新規適用となった生活習慣病予防健診の受診率が低い事業所(2人以下)に対し、年度当初の一斉案内に加え年度途中に受診案内を送付し受診率向上を図る。 案内送付予定事業所数：4,500社					○	272,250
	⑳【新規】県外在住者に対する特定健診の受診勧奨	県外在住の被扶養者に対し特定健診の案内を送付することで特定健診受診率向上を図る。 案内送付予定数：8,500人					○	448,800
	健診受診勧奨等経費 小計				16,454,000	7,293,966	44.3%	
健診経費 合計				40,788,000	15,506,417	38.0%		32,090,000

保健指導経費		②保健指導機関委託費（システム対応ができない分）	事業所に保健師が在籍している2事業所と特定保健指導実施の契約をしているもの。	○	979,000	590,136	60.3%	○	0	
		③中間評価時の血液検査費	R3年度も新型コロナウイルスの影響もあり、R2年度より12件減少している。	○	1,155,000	600,600	52.0%	○	1,155,000	
		④医師謝金	3年度は、保健指導に関して医師から医学的な意見・助言をいただくケースがなかった。	—	13,000	0	0.0%	○	12,800	
		⑤保健指導用データ等送料	宅配便を使用したケースがなかった。	—	80,000	0	0.0%	×	0	
		⑥保健指導用パンフレット作成等経費	保健指導等利用勧奨の案内通知へ同封するリーフレットを購入。	○	1,139,000	135,300	11.9%	○	650,000	
		⑦保健指導用事務用品費（測定用機器類等）	保健指導に必要なバッグの新調、マスク、除菌シートのほか、ICT用のヘッドセットの購入。	○	489,000	147,488	30.2%	○	480,000	
		⑧保健指導等図書購入費	保健指導等を実施する上で、必要な医学的知見を得るための書籍を購入した。	○	77,000	28,420	36.9%	○	68,000	
		⑨公民館等における特定保健指導	今年度は、公民館等を活用した特定保健指導の実施はなかった。	—	20,000	0	0.0%	○	20,000	
		⑩保健師募集広告経費（支部）	契約保健師の募集については、ハローワークによる募集のみでフリーペーパーなどを活用した募集は行わなかった。	—	50,000	0	0.0%	○	50,000	
	保健指導推進経費	保	⑪「前年度実績超過分」を報奨金の対象とする実施機関	健診実施機関での特定保健指導推進経費については、4機関が目標を上回る実績となり、予算額を超える支払いとなった。	—	68,310	200,970	294.2%	○	546,480
		進	⑫「特定保健指導実施件数」を報奨金の対象とする実施機関		—	304,920	214,170	70.2%	○	46,860
		経	⑬新規契約機関又は前年度実績が60件以下の実施機関のうち、当年度実績が61件以上の実施機関		—	9,900	68,310	690.0%	○	0
						384,000	483,450	125.9%		594,000
	保健指導利用勧奨経費		⑭特定保健指導者合同研修会	年1回、健診実施機関・事業所在籍等の専門職60名程度の合同研修会を開催し、専門職間の連携を強めるとともに、保健指導の質の向上を図っており、R4年1月に実施。	○	56,788	0	0.0%	○	62,388
			⑮特定保健指導に係る映像広告	特定保健指導について理解と興味を促すためのアニメーションの動画を作成し、ユーチューブ上で配信。	○	990,000	687,500	69.4%	×	0
			⑯特定保健指導利用勧奨	初回面談説明用パンフレットの作成・購入予定であったが、数量が充足していたため、購入しなかった。	○	220,000	0	0.0%	○	119,900
			⑰共同利用周知	「共同利用周知チラシ」を作成し、事業所への健診案内および健診実施機関において健診結果に同封することで事業所および生活習慣病予防健診受診者に対して特定保健指導を行う際の個人情報の取り扱いについて周知を行った。	○	871,200	427,790	49.1%	○	609,510
						2,138,000	1,115,290	52.2%		792,000
	保健指導経費 合計					6,524,000	3,100,684	47.5%		3,821,800

重症化予防事業経費		⑳未治療者受診勧奨	〈外部委託業者〉R3年度下期より文書勧奨を実施。 〈支部内体制〉保健師等による電話・文書・訪問による支援等を実施。回答書の提出を受けて、必要な支援等を実施した。	○	3,537,600	1,464,925	41.4%	○	7,479,912	
		未治療者受診勧奨 小計				3,538,000	1,464,925	41.4%	/	7,480,000
	重症化予防策	㉑糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	治療を開始した方に対して健康支援（保健指導）を実施。医師から提出される指示書に対して情報提供料の支払い。	○	139,150	52,250	37.5%	○	139,150	
		糖尿病性腎症患者の重症化予防対策 小計				140,000	52,250	37.3%	/	140,000
		㉒群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムに基づく受診勧奨	生活習慣改善や治療継続のサポートの提供を希望する対象者に対し、県のプログラムを基本とした必要な支援を実施した。	○	1,650	0	0.0%	○	2,475	
		群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムに基づく受診勧奨 小計				2,000	0	0.0%	/	3,000
		重症化予防事業経費 合計				3,680,000	1,517,175	41.2%	/	7,623,000

コ ラ ボ ヘ ル ス 事 業 経 費	コ ラ ボ ヘ ル ス 事 業	④健康事業所宣言事業所に対するフォローアップ（情報提供）	宣言事業所に対し、健康経営に役立つ情報誌を年2回（9月・12月）送付。 宣言時に導入ツールとしてパンフレットを配布し取り組みを支援した。	○	843,040	410,300	48.7%	○	1,566,400	
		④健康事業所宣言事業所に対するフォローアップ（優良表彰）	令和3年10月 健康事業所宣言事業所のうち、健診実施率や特定保健指導実施率等が優れている事業所3社の表彰を実施した。	○	23,650	5,784	24.5%	○	23,650	
		④健康セミナー講師派遣事業	事業所の健康づくりを支援するため、健康事業所宣言事業所に対して専門職等の無料派遣を実施。 (27事業所、637人)	○	201,650	124,950	62.0%	○	301,650	
		④活動量計貸出事業	健康宣言事業所の被保険者等に活動量計を一定期間貸与し、活動量の調査を行い、結果をもとに保健師等から個別のアドバイスをを行い運動習慣の改善を促した。（9事業所、62人）	○	139,650	0	0.0%	○	202,455	
		④健康事業所宣言事業所及び健康保険委員委嘱にかかる勧奨	被保険者数20人以上の適用事業所で、かつ令和元年度の健診受診率の高い上位2000社を対象に、勧奨文書を発送し、あわせて電話勧奨を外部委託により実施した。 外部委託を実施した結果、宣言事業所が62件増加し3.1%の効果があった。	○	3,515,600	1,875,165	53.3%	○	3,515,600	
		④健康宣言前後の健診結果を分析したフォローアップスタイルの展開	平成30年度に健康事業所宣言を行った事業所90社を対象に、平成30年度から令和2年度までの健診結果と令和3年度の調査票(アンケート)結果について分析を行った。群馬支部の加入者は重症高血圧者の割合が高いため、血圧リスクに着目して分析を行い、その結果に基づいてチラシを作成。作成したチラシは令和4年度の健康事業所宣言調査票(アンケート)に同封して送付した(令和4年4月573社)。	○	385,000	54,340	14.1%	×	0	
	コラボヘルス事業 小計					5,109,000	2,470,539	48.4%	/	5,610,000
	（事 業 所 提 供 ツ ー ル 等 ル）	④事業所カルテツールを利用した事業所の健康度確認	健康事業所宣言事業所に対して、事業所の健康度を見る化した事業所カルテを送付した。（280事業所） 未宣言事業所に対して、健康事業所宣言の勧奨時に、事業所カルテを提供した。（908件）	○	3,822,500	4,356,000	114.0%	○	3,822,500	
		情報提供ツール（事業所カルテ等） 小計					3,823,000	4,356,000	113.9%	/
	コラボヘルス事業経費 合計					8,932,000	6,826,539	76.4%	/	9,433,000

その他の経費	その他の保健事業	㉗血圧リスクの低下を図る運動セミナーの実施	未実施 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	×	371,610	0	0.0%	○	371,610
		㉘健康経営の普及促進にかかる広報及びセミナー等の実施	コロナ感染者数が落ち着いてきたため、集合型の健康経営セミナーを開催する予定で準備を進めたが、コロナ感染急拡大のため中止となった。 健康経営にかかる広報は、地元新聞紙面（経済面5段）を活用し、健康経営の啓発と支部健康宣言事業「生き生き健康事業所宣言」の周知を行った。	○	2,563,000	1,044,260	40.7%	○	5,126,000
		㉙地方のイベントを利用した健康づくり推進事業	県内購読数トップである地元新聞社を活用した健康経営、健康づくりの啓発を群馬県等と共催し半年間行った。 新聞紙面での啓発として、群馬支部での健康づくり等の啓発紙面のほか、健康経営優良法人認定2022に認定された群馬支部加入事業所全社を掲載した。 また、オンラインセミナーを開催し、支部保健師が講師として参加した。	○	990,000	990,000	100.0%	○	2,310,000
						3,925,000	2,034,260	51.8%	
		㉚保健事業計画アドバイザー経費	健康づくり推進協議会議長からご意見、アドバイスをいただいたが無償のため、予算執行はなし。	—	96,000	0	0.0%		63,200
その他の経費 合計					4,021,000	2,034,260	50.6%		7,871,200
令和3年度 総合計					63,945,000	28,985,075	45.3%		60,840,000